

わいわいタイムス

～ みんなの力で上関町をもっと元気にしよう! ～

梅雨の必需品、「傘」の歴史

紫陽花の花が色づき始めた6月。暦の上では10日が「入梅」のこと、ぼちぼち鬱陶しい梅雨入りのニューズが聞こえてきましたね。



雨降りに欠かせないものといえば、何をおいても「傘」ですが、意外にもその昔、古代エジプトの偉い方が灼熱の光を遮(さへぎ)るために日よけに使っていたのが、傘の始まりなのだそう。中世の時代では、貴婦人がアークセサリー感覚で持たれていた小ぶりのなレースのヒラヒラした傘が人気で、これも日傘でした。近世から近代、つまり19世紀半ば頃からは、男性がステッキ代わりに使うようになり、雨を防ぐための実用的な「雨傘」が主流となっていました。

さて、日本では「かさ」というと、頭にかぶる形の「笠」のことでした。戦国の世に、下級の兵が戦場でかぶるの代わりにかぶった陣笠は、薄い鉄や革などでつくり、漆塗りに仕上げたものです。藁草(いぐさ)・菅(すげ)・わらなどで編み、主に日よけ用だった編み笠。また、僧侶の方などがかぶる網代笠など、その用途によってさまざまなきががありました。

「和傘」の歴史は結構古く、古代には豪族のシンボルでした。「絹傘」と呼ばれた布製で開閉のできないこの傘は、身分の高い方が外出する際、お供の人が頭上から傘を差し、強い日差しから守るだけでなく、権威の象徴として

の意味合いが強いものだったそうです。

近世・江戸時代の頃に、大坂の大黒屋がつくったのが、1本の竹を30〜35本に割った太い骨に白紙を張り、荏油(工ゴマ油)で防水して作られた紙製の傘。これが江戸に伝えられ、丈夫で値段も安いことから庶民の間で大流行したそうです。大黒屋傘の名で全国に広まり、大きな商家ではこの傘を多数揃えて、屋号や番号を書き、雨のとき「客に貸し出すようになりまし。これが、「番傘」と呼ばれた所以(ゆえん)です。特に、江戸の越後屋の番傘は人気があり、店の宣伝にもなったようです。蛇の目模様がかかれた「蛇の目傘」と呼ばれるものも、庶民に広く用いられたようです。

日本に「洋傘」が入ってきたのは、同じく江戸時代、勝海舟が西洋から持ち帰

ったとされているように、海外歴史は浅いのですが、昭和の中頃から洋傘の生産量が、和傘を上回るようになりました。近年では、バネの力を利用して傘が開く「ジャンプ傘」や、小さく折りたためるようになってくる「折り畳み傘」、また透明で視界が遮られない「ビニール傘」は、百円ショップにも登場するほど安価で人気がありますし、日傘だけでなく雨傘にも使える「晴雨両用傘」など、便利な傘も普及してきました。その一方、ブランド品やオーダーメイドの傘にも、根強い人気があるようです。



わいわい掲示板

◆「朝鮮通信使上関到来まつり」開催のお知らせ

6月19日(日)に上関町観光協会主催の「朝鮮通信使上関到来まつり」が開催されます。今回が初めての開催で、上関町総合文化センターを会場に、多彩なイベントが企画されています。「わいわいタイムス」4月号で紹介した映画『李藝 最初の朝鮮通信使』の上映会もありますよ。ぜひご来場ください。

- 【イベント名】朝鮮通信使上関到来まつり
- 【日時】6月19日(日) 9:00~15:45
- 【場所】上関町総合文化センター(上関町室津)
- 【入場料】無料
- 【主催・問合せ】上関町観光協会(電話 080-2898-2014)
- 【スケジュール】

- 9:15~ オープニングイベント(ステージホール)
- 10:00~10:45 韓国舞踊ポドルフェ(ステージホール)
- 10:00~10:30 楽しく学ぶ歴史教室①(研修室)
- 11:00~12:00 歴史講座(研修室)
- 13:00~14:10 映画上映『李藝』(ステージホール)
- 13:30~14:00 楽しく学ぶ歴史教室②(研修室)
- 14:15~15:00 韓国舞踊ポドルフェ(ステージホール)
- 15:15~ フィナーレイベント(ステージホール)

※ユネスコの世界記憶遺産申請資料である「朝鮮通信使船上関来航図」(超専寺所蔵)の本物の展示もあります。

印刷のことなら

さかもと印刷

田布施町寿町 山銀南

☎52-2522

誰もが安心して食べられるおいしいお菓子を

自然菓子工房 欧舌

Ohshita

おおした

自然菓子工房 欧舌

〒742-1511
熊毛郡田布施町下田布施 874 番地
TEL 0820-52-2038 FAX 0820-52-2538
メール okashi@oh-shita.com
ホームページ http://www.oh-shita.com/
営業時間 10:00~19:00 定休日 日曜日

はっぴーあいらんど 祝島

民宿くにひろ

祝島

1泊2食 7000円
素泊り 4000円

〒742-1401 上関町祝島
携帯電話 090-1332-4897
メール: minsyuku@iwaishima.jp
http://iwaishima.jp/minsyuku/

はっぴーあいらんど

祝島通信

Vol.1~3

(みずのわ出版)
定価 各1500円+税

好評発売中!

明屋書店柳井店・光店、ダルマ書店(柳井市)、えべす商店(祝島)、民宿くにひろ(祝島)等で販売しています。

◎電話注文は090-1332-4897へ